

編集と発行 鹿児島県 肝属郡 大根占町役場
総務課 文書広報係
(電話 大根占局 1・69・254)
印刷 大根占印刷所 (電話 70)

町の人口 (41年1月1日現在 推計人口)
男6,106人 女6,851人 計 12,957
前の月より 2人増

大根占町おおわじわ

二月は、造林の適期です。適地に、適木を選んで、早目に植付けましょう。

危機を迎えた国保財政

病気の早期発見の励行を

本町の国民健康保険の療養給付を、昭和四十年一月一日から、全員七割給付にすることとし、今日に至っていることは、すでに御承知のとおりです。

そのため療養費が増大し、国保事業の運営が危ぶまれましたが、皆様方の御協力で、四十年度は順調に運営されておりますことは、感謝にたえません。

医療費は、生活文化の向上経済の成長と共に、今後、ますます増高し、限界がないのではなからうと思はれます。

昭和三十九年度の県下の決算状況をみると、赤字団体が二四ヶ町であり、四十年度にはさらに、ふえるのではないかと、考えられすべての町村がこの危機を、どのようにしてのりこえるか頭を痛めている実情です。

これは、本県だけでなく、全国的な問題であり、中央で

は、医療費の国庫負担の増額事務費の全額負担等、国保財政危機突破大会の開催、関係機関との陳情等の結果、かなりの改正がなされたのですが、国保が、このような苦しい状態に追込まれ、国の制度にも問題がありましようが、本町の場合、この事業開始以来、五年目を迎えておりますが、その間、国民経済の成長所得の増大により、県下のほとんどの町村が、この経済変動に即応して、実質的な税率の引上げを行って財源の確保をはかっているのに、本町だけは、余剰金の蓄積によって、四十年度までは、税率引上げをすることなくのりこえてきたわけでは、いよいよその岐路にたたされ、保険税率の改正をしなければ、運営が困難になるのではないかと、という状態になるようであり、また、保険税は、経済の変動によ

って、年々改正されるのが本来の姿であって、今まで引上げを要しなかったのは、当時将来に対する見通し、推計が正確であったことに外ならないと、思うものです。

保険税は目的税でありますので、受益者負担に伴うのは当然であり、これは、水利組合費を納めるのと性質的には変わらないと思はれます。

保険税の税率は、冬例によって定められることになっており、その計算基礎は、年間の医療費が、いくらかかる、ということによって税率が定められます。

本町の場合、医療費が増大するにもかかわらず、今日まで税率の改正をしておりませんが、もはや現状では、改正もやむを得ないと推定されます。

税率を改正するに当たって、先づ考えられることは、本町は、九万円以下の所得層が多いということ、減額世帯を含めて、全体の八〇パーセントを占めており、県下の上位にあります。

このことは、十万円も、二十万円も、或は、三十万円以上の所得者もこの中には入っているのではないかと、県では指摘しています。

今後は、所得額の把握を、適確に行うことによって、自然増収もできるものと考え、町民皆さんに、正確な申告をしていただくようお願いいたします。

していただくようお願いいたします。

今までは町で支払ってきた、一人当りの医療費は、昭和三十八年度一、七〇〇円余、三十九年度二、一〇〇円余、となり、四〇年度は、年度途中ですが、三、五〇〇円前後になると考えられ、さらに四十一年度は、四、〇〇〇円程度になると推定されます。

四十一年度の被保険者を、一万人と仮定しますと、年間に町で支払う金額は、四千万円になり、これに対する収入は、国庫支出金約二千五百万円、保険税約一千万円であり、当然相当額の不足が予想されますので、正確な所得の把握をいたしたいと考へます。

医療費の増高によって、年々税率の引上げが理想的ですが、これは為政者として相当考へなければならぬ問題です。

一般会計の場合は、財源がなければ事業を制限することができませんが、国保事業では財源のないことを理由に、これを中止することのできないところに、運営のむずかしさがあります。

従って今年、皆さんと共に、健康で明るい家庭を作るために、いろいろ工夫し、病気にからぬよう日常生活に注意し、病気の早期発見、早期治療等を励行していただき、国保事業の円滑な運営に御協力くださるようお願いいたします。

と点検末の作業前

整備不良車の運行が命とり

＝ 交通事故防止によせて ＝

一月十四日午前九時頃、ブレイキの故障のため、バスが民家に突っこみ、死者一名、けが八名を出すという重大事故が突然大根占の市街地のまん中でおこりました。

いれ一足腰をする必要があります。新車であっても油断は太敵です。

しかもこの事故でなくなられた方は、自分の店の中に居てこの事故に合われたので、町民がびっくりしただけでなく、テレビニュースに県民全部を「アッ」と言わせましたこの事故の原因について考えてみます。

原因として運転者の不注意が第一原因と見られます。

点検がじゅうぶんでなかった、第二原因はバスが整備不良車であつたことがあげられる。

すべて運転者は車を運転しようとするときは、作業点検をするように道路交通法で義務づけられております。これは説明するまでもなく、作業点検によつて車の不良が所を発見して事故を未然に防ぐためであり、また、このきまりを守らない人が多く、また形式的な作業点検をしたために事故を起して尊い命をなくしたり、大けがをする例がたゞくさんあります。特にブレイキやハンドルなどの重要な部分は念を

次はこのバスはサイドブレイキの取りつけもじゅうぶんでなかったためにブレイキホースが破れてブレイキがきかなくなつた時にその役割をじゅうぶんに果たさなかつたので

運転者のほんのちよつとした不注意から重大な人の命が失なわれたりきつづけられる結果を招いたわけですね。

そこでこのような整備不良車による悲惨な事故を二度と繰り返さないために、お互いに反省してみましよう。

早く加入してください
保険金がもらえなくなります

国民年金のしおり

昭和五年四月一日以前に生れた人（現在三十五才以上の）でまだ国民年金に加入していない人はなぜ早く国民年金に加入しないか！と言うのでしよう。

それは、国民年金の給付には老令年金、障害年金、母子年金などいろいろありますが老令年金以外の年金を給付する場合の条件は、給付しようとする事故が起きたとき、例えば身体障害者になったときとか、あるいは御主人が亡くなって母子世帯になったときを時点として、その時点から過去にさかのぼって何年分保険料を納めていたか、あるいは保険料の免除を受けていたかによって、給付するようになったりします。（事故が起きたときから、さかのぼって一

金の被保険者期間である六十才になるまでに二十九年間の期間があったのですが、前に説明しましたように、保険料納付済期間、保険料免除期間あるいは保険料納付済期間と保険料免除期間を合算した期間が最低二十四年あれば、老令年金が給付されることになり、また五年間は滞納期間があっても、その期間分はおお目にみてあげようというところ、今ではもう四十一

滞納期間を作ったことになり、滞納期間が許されません！という瀬戸際に立たされていることになり、このようないいっていいのです。

老令年金受給のための年齢に達した最低期間

生年月日	昭和40年4月1日現在の年齢	最低期間
S 4. 4. 2 ~ S 5. 4. 1 の間に生れた者	35歳をこえ 36歳をこえない者	24年
S 3. 4. 2 ~ S 4. 4. 1 の間に生れた者	36 " 37 "	23年
S 2. 4. 2 ~ S 3. 4. 1 の間に生れた者	37 " 38 "	22年
T 15. 4. 2 ~ T 2. 4. 1 の間に生れた者	38 " 39 "	21年
T 14. 4. 2 ~ T 15. 4. 1 の間に生れた者	39 " 40 "	20年
T 13. 4. 2 ~ T 14. 4. 1 の間に生れた者	40 " 41 "	19年
T 12. 4. 2 ~ T 13. 4. 1 の間に生れた者	41 " 42 "	18年
T 11. 4. 2 ~ T 12. 4. 1 の間に生れた者	42 " 43 "	17年
T 10. 4. 1 ~ T 11. 4. 1 の間に生れた者	43 " 44 "	16年
T 9. 4. 2 ~ T 10. 4. 1 の間に生れた者	44 " 45 "	15年
T 8. 4. 2 ~ T 9. 4. 1 の間に生れた者	45 " 46 "	14年
T 7. 4. 2 ~ T 8. 4. 1 の間に生れた者	46 " 47 "	13年
T 6. 4. 2 ~ T 7. 4. 1 の間に生れた者	47 " 48 "	12年
T 5. 4. 2 ~ T 6. 4. 1 の間に生れた者	48 " 49 "	11年
T 5. 4. 1 以前に生れた者	49 " 50 "	10年

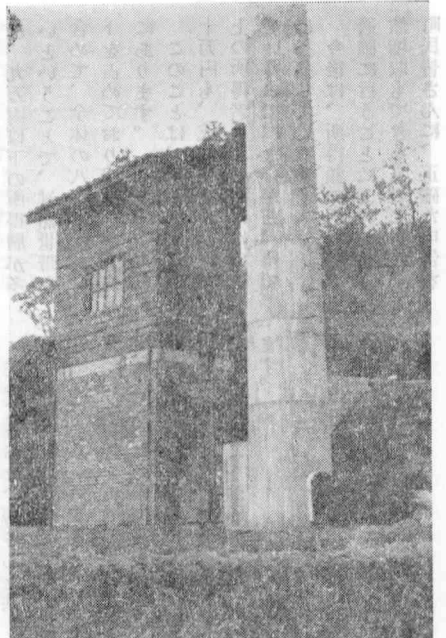
最低期間とは、保険料納付済期間、または保険料免除期間、あるいは保険料納付済期間と保険料免除期間の合算期間をいいます。

チリ焼却炉

完成

本紙十一月号でお知らせしましたように、町では、環境衛生の整備をはかり、町をきれいにしようということからチリ焼却炉を建設中でしたがこの程完成、一月二十九日火入式を行いました。

工事は、既報のとおり、一



三〇万円で、福岡市の太陽製炭工業株式会社により施行されたもので、一日約二トンのチリを処理でき、今後、町の美化に大きく役立つものと期待されています。

87人が成人に

成人式

ことしの成人式は、一月一五日、高校講堂で開かれ、男四二人女四五人が新しく大人の仲間入りをし、関係者の祝福を受けました。

誓いのことば、感想の発表などがあり、県立養護学校長、荒田静先生、一成人者に望む」と題する有意義な講演があり、記念品の贈呈があつて



式を閉じました。
（成人となった感想をのべる脇弘子さん（役場、文書広報係勤務）

交通事故 絶滅を期して

交通安全町民会議が発足

交通事故の恐ろしさについては、毎日の新聞、テレビ、ラジオ等で報道され、お互いに充分知りつくしているはずですが、事故の件数は、ますます増えつつあります。

去る一月十四日には、故障車を運転したばかりに尊い一人の人命を失い、負傷者八人をだすという事故が、本町市街地の中心で発生しました。（関係記事別項参照）

このように、交通事故は、私達の日常生活を営むうえに一つの大きな恐怖としてのしかかっている感があります。

こうした不安をなくするためには、町民お互いが交通の決りをよく守り、常に事故を未然に防止しよう心がけることこそ最も必要ではないか

この町民会議は、本町内の

交通安全を円滑にし、交通事故の防止について総合的な対策を町民総ぐるみで推進することを目的とし、昭和四十年度の重点目標として、交通事故絶滅の基本的問題である次の事項を中心として、交通安全思想の徹底をはかることにしています。

- 1、正しい横断と、安全の確保
 - 2、飲酒運転の絶滅
 - 3、車輛及び運転者の安全管理の徹底
- この重点目標を達成するため、各種の団体、工場、事業所、事務所、官公署、商店等で、別に定める実践事項に基づいて、それぞれの立場で対策をたて、実践活動の推進につとめることにしています。
- お互いに事故の恐ろしさ、を再認識し、事故のない、明るく、住みよい町にするため皆さん方の御協力を願います。

無許可の者が、これらの小鳥を飼育したり、捕獲したりすると、法によって処罰されます。

これらの許可を申請される人は、役場内の林業改良普及員に申出て、許可を受けてください。

四十一年度から着工予定

深い理解と協力を

水道事業

本町市街地の一般家庭に、水道を布設する計画は、大分前から論議されていましたが、いろいろな都合で実施の段階に至らず、今日に至っています。文化的にも、衛生的にも、この事業の果たす役割は大きなものがあると考えられます。

そこで町としては、できるだけ昭和四十一年度から、関係町民皆さんの御理解と、御協力を得て、この事業を完了

施できるよう準備を進めています。
現在、大根占、神川両校区の下場地区（皆倉を除く）の部落長さんを通じて、希望の有無を調査中でありますが、具体的に各自の負担額がいくらになるか、というような資料ができておらず、申しわけなく思っています。これは、取付けを希望する人の数によって経費が変わりますので、資料のそろい次第各人の負担分

を算出し、希望しない人についても、更に納得のゆく説明をしてこの事業が円滑に推進できるよう努力することになっています。

水道事業は、社会福祉施設の一つとして最も大事な事業であり、生活文化の向上とともに水の使用量は増加するといわれているとおり、今後、ますます本事業の必要性が痛感されると思われています。

又、他方では、市街地の整備がなされ、発展しつつある今日、防火施設の整備拡充という面からも大変必要なことかと思はれます。

が相当普及してはいますが、永久的なものではなく、将来のことを考えると、水道施設の方が、維持、管理費においても格安であることが立証されていますので、現在では希望のない人も、工事が始まると、取付けを望まれる人がでてくるものと、考えられます。しかし、現在取りつけるのと将来取付けるそれとは、物価上昇の甚だしい今日では、工事費負担も相当高くなること予想されますから、いまだ取付けておいた方が負担が軽くてすむのではないかと考えます。

このようにことから町としても、相当額の負担もあるわけですが、県内でも水道施設のない町村は数少ないわけで、生活文化の向上、衛生思想の普及向上等、私達の生活をと

中央分団長に

城之下 道男氏

消防出初式

恒例の消防出初式は、一月六日、高校校庭で行なわれました。

入退団者、表彰者は、次のとおりです。

入退団者

中央Ⅱ宮内正美、崎山昭、野入茂弘、下柳好一郎

落司好則

宿利原Ⅱ羽島義夫、米満節、田中勝則

退団者

中央Ⅱ上杉工、上園友吉、室屋義明

神川Ⅱ葛蒲義治、番園五男、上柳田茂、迫田虎男、宿利原Ⅱ厚ヶ瀬邦則、羽島信義、永峯近人、笑喜一男

昇任

△分団長Ⅱ城之下道男（中央）
△副分団長Ⅱ吉井明（中央）
△部長Ⅱ下之園賢勇 川辺正人（中央）

△班長Ⅱ落司栄一 浜田幹男（中央）

△一五年勤続賞
永野米吉 大迫清武 岩崎正春 命吉次兵エ

△一〇年勤続賞

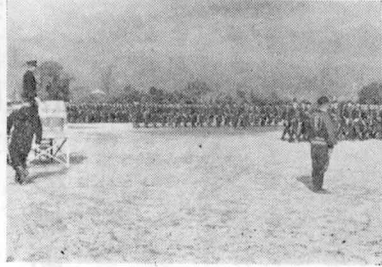
真茅一盛 宿利原敏樹 磯脇春夫 久保田友吉 浜田幹男 迫探 宿利原平 栗脇一徳

△退団者感謝状贈呈

上杉工 上園友吉 葛蒲義治

△退団者報賞（消防庁）

木場繁 厚ヶ瀬秋夫 川崎正



善意の話題

義 松山繁 有村辰二 室屋卯吉 平原一 徳永寛

◎香典がえしを寄附
館部落の湯田竜吉さんは（県教育指導主事）母イ子さんの忌明けに、塩屋一区の田中藤助さんは、長男俊治さんの忌明けに、宮脇部落の山南繁彦さんは、母ツルカメさんの忌明けに、神ノ浜二区の前原正夫さんは、父八太郎さんの忌明けにそれぞれ社会福祉事業費の一部に、香典返しとして多額の御寄附をい

ただきました。町社会福祉協議会では、御厚意をありがたくお受けし、社会福祉のため役立てる所存です。厚くお礼申しあげ、ご他界された方々の御冥福をお祈りいたします

◎大根占錦江園を慰問
町立大根占錦江園には、現在四十六名のお年寄りが入園され、楽しい毎日を送っております。

再三お伝えしていますが、一般の方々から温情あふれる慰問の品々を贈ってほしい、非常に感謝されています。

特に、年末、年始にかけて次の方から、それぞれ、慰問

とくところは、とんどこでも問題なく、白から進んで希望し、早急な実施を要望しているといっています。とくに婦人の方にその声が強くなり、本事業推進に大きな力となっていることとす。

現在電気ポンプを使用してはいる家庭では、その使用の方法もある訳で、夏は水道の水を使用し、冬は電気ポンプを使用する等がそれです。

このようなことから町としても、相当額の負担もあるわけですが、県内でも水道施設のない町村は数少ないわけで、生活文化の向上、衛生思想の普及向上等、私達の生活をと

や、プレゼントをいただきました。入園中のお年寄りにかわって厚くお礼申しあげます

◎大根占郵便局長、山元左源氏、町議、川越二郎氏南大隅高校根占校舎家庭クラブ員十四名の方から、貴島タツ氏、塩屋一區婦人会農業グループ佐多町婦人会、大阪市の弓削クマエ氏、大根占小学校五年生七名の方、木場婦人会寺田トミ氏外

以上ですが、小学生の真心こめた千羽鶴や、婦人会からの餅の寄附など、お年寄たちは大変なよろこび方でした。ほんとに有難うございました



戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

今月の農作業

● いている水田や畑は、寒さが増し、冬にすぎ起しておきますと越冬中の害虫を死滅させたり、土をやわらかくする効果があります。ぜひやっておきましょう。

◎ むぎの追肥、中耕、土入の時期です。追肥は、硫酸で8キロ、尿素で4キロ位が適当でしょう。

◎ 甘しょの貯蔵ツボは、いつも注意して、雨水の入らないように、ツボ内の温度を13度位に保つようにすると腐れを防げます。

※ やさい

◎ 果菜類の育苗は、床温によく注意する。天気が変わりやすく、温度差がはげしい。ビニールの開閉をまめにし、コシのかけ方にも充分な注意を。◎ さやえんどうは、突風で支柱が倒れやすいから、補強しておく、ウドンコ病も発生するので、カラセンで防除する

◎ 春馬れいしょの植付も下旬までにはすませる。早掘馬れいしょの、芽かき、追肥土寄せを急ぎましょう。

※ みかん

幼樹は、とくに寒害をうけやすい。寒い風で葉が白くなって落ちる。これでは春芽の伸びが悪いから、一枚でも葉を落さないように、寒風の当る方向に防風垣がほしい。

地温の低下、乾燥を防ぐためにも、敷草、敷わらを充分にしておきましょう。

※ 畜産

冬は、農作業もわりかたひまな時期、自然家畜は舎内にこもりがちです。骨軟症はこうしたときによく起ります。日中は、できるだけ日光のよいところを選んで、日光浴をさせましょう。

青物飼料を充分与えることも大事、青刈えんばくは、刈取りのつどN質の肥料を追肥

すること。

※ 水陸稲種子の準備

早期水陸稲は、来月、中、下旬にはそれぞれ播種します。その時になつてあわてないよう、必らず発芽試験をしておきましょう。

発芽率(芽の出る割合)が70パーセント以下の種子は、早目に手配して他のいい種子と交換しておきましょう。



種菌は多目に埋込む

伏込み場所の選定は慎重に

しいたけ栽培

(前号から続き)

四、玉切り

伐りたおした原木は、ある期間乾燥しますと、適当な長さになり玉切りしますが、その長さはいろいろな条件によって違います。自家用程度に栽培する場合は、一米位が手頃で規模が大きく、専業的にやる

ときは、一、二米、一、五米位がいいでしょう。

五、接種(種菌の埋込み)

菌糸は、皮の繊維の方向にのびる性質がありますから、原木に縦に長くならべて接種しないで、千鳥形か、らせん

原木に枝のあるときは、つけ根から一〇〜一二センチ位のこして鋸で枝に直角に切落すようにした方が、発生もよく、雑菌の侵入も少いようです。

方向に、三〇〜四〇度位の角度で力強く穴をあけます。要領は、原木の細い方を前にして小さい木の上のせ、元口の方を足でおさえて「ノミ」を打込み、その枝あとに種駒をさし込んで「ノミ」の頭で軽くたたき、やや深目に埋め込みます。死節や、腐れた部分のある原木は、その周囲に多目に打込み、雑菌の浸

入を防ぎます。種駒の数は、原木〇、二七立方米(一石)当り四〇〇個以上打ち込みます。六、伏込み作業

伏込み作業は、しいたけ栽培の中で最も大切な作業です。種駒を打込んだ原木を完全なボタ木にするための作業ですから、雑菌の侵入を防ぎ、しかも、原木全体にしいたけ菌が蔓延した一年でも長く使えるボタ木を作ることが、この作業の目的です。ですから伏込みの上手下手は、収量に直接影響します。

しいたけ菌は、原木内の水分だけで十分まん延できますから、人工栽培では、風とおしをよくし、傘木をかける場合にうまくすすむにかけ、直射日光をささざる程度にして、いつも原木の表面が降雨のない日には、乾燥していることが望ましいわけです。

これはたとえ雑菌がついても発芽しないようにすることが大切です。伏込みの場所としては、しいたけは、雨が降ってボタ木が湿ったとき大量に発生するので、湿気の多いところでなければならぬように考えられ

がちですが、しいたけ菌は、好気性菌といつて比較的乾燥地を好むもので、地下水の低い、水はけのよい、山の背のような風通しのよい所が適しています。

普通考え勝ちな、沢通りのジメジメした、大木が繁って昼なお暗いような場所とか、朝夕霧がたちこめているような湿気の多いところがいいように考えられがちですが、むしろ、「こんな乾燥する場所が」と心配するようなところが適しているわけです。

◎ 母子栄養食品支給について 昭和四十年十月一日から次のとおり牛乳や粉乳の支給を行っていただきますから該当者は民生課へ届けてください。

一、対象者(一)生活保護世帯(単給世帯を含む)(二)市町村民税非課税世帯に属する妊産婦及び乳幼児とする。

二、支給をうけることのできる期間(一)妊婦六ヶ月間(妊娠四ヶ月から支給)(二)産婦三ヶ月間(出産の翌月から支給現在出産後三ヶ月以内の人も含む)

三、乳幼児九ヶ月間(生後四ヶ月から支給、すでに出生しているものも含む)

四、支給量(一)日牛乳一本

◎ 冬に多い病気とその予防!! 「インフルエンザ」

普通のカゼとちがって、突然寒気、頭痛、腰痛などがし三九度近い高熱が出て、その後セキ、タンなどがあらわれます。

「予防」インフルエンザワクチンを注射しておく。外出時マスクを使用し、帰宅時ウガイを励行する。被服に気を配り暖房をとる。栄養に注意して、主をさけること。



先手必勝

成人病には

早期診断

早期治療

(成人病予防)

奥さまの手帳

二月は例年火災のもっとも多い月です。強い季節風が吹き、空気が乾燥してしま

ので、大火になりやすいのです。火の元はだいたいようぶでしょう。タバコの火コタツの火、ふろ場の火をもういちど確かめましょう。プロパンガス、石油コンロのせはしまつていますか、たき火の後始末を忘れてはいませんか。

お子さんたちの火遊びも火災の大きな原因になっていま

す。テレビも火災のもとになって

います。部品が不良だったのを知らずにいたため、過熱して、たまつていたところに火がついて火災をひきおこした例もあります。

アイロンをつければなしにして、おとなりの奥さんとおしゃべりしていたために大事になった例もあります。

一にも二にも火の用心。二月は

はいちばん火災の多い月。

● 成人病は脳卒中、ガン、心

臓病の三つを総称しているの

ですが、そのうち脳卒中は、

その第一位を占めております

元来、脳卒中というのは、脳

の中に突発的な異変がおこる

病気の総称だそうなんです。おも

なものに脳出血と脳血せん

の二種があります。いずれも脳

の動脈変化の強いところでおこ

りまして、おとなりの奥

さんとおしゃべりしてい

たために大事になった例

もあります。

一にも二にも火の用心。二

月はいちばん火災の多い月。

お知らせ板

◎ 床屋さん、美容院などの休みは、毎週月曜日でしたが、第三月曜日の休業を、第三日曜日「家庭の日」に変更します。

◎ 「病氣」「けが」などで診療をうけるときはかならず健康保険証を医師に提出してください。

◎ 母子栄養食品支給について 昭和四十年十月一日から次のとおり牛乳や粉乳の支給を行っていただきますから該当者は民生課へ届けてください。